

株主通信

第70期 第2四半期

2020年3月1日～2020年8月31日



U.S. コーストガード艇ほか (米国・シアトル沖)

TOPICS | 「西宮ストークス」と オフィシャルメインパートナー契約を締結

プロバスケットボールリーグB.LEAGUE 2部に所属する「西宮ストークス」とオフィシャルメインパートナー契約を締結しました。1964年に長崎から西宮に本拠地を移し、56年にわたって西宮の地で活動してきた当社は、「価値共創」をスローガンに、これまで以上に地域とのつながりを深め、西宮を盛り上げる一端を担いたいという想いを抱いています。同じく西宮を拠点に活動し、「協創」をスローガンに掲げる西宮ストークスとともに社会へ価値を提供することで、スポーツの力で西宮を元気にしてまいります。



オフィシャルメインパートナー 就任記者会見の様子



西宮ストークス 谷直樹選手

経営ビジョンの実現へ。中期経営計画のもと
新たなスタートを切りました。



代表取締役社長
古野 幸男

新型コロナウイルス感染拡大による
最悪期を脱し、経済は回復基調に転じました。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、各国・地域で新型コロナウイルス感染拡大による最悪期を脱して「経済活動維持および感染拡大抑制の両立」の局面に入り、回復基調に転じました。いち早く経済活動を再開した中国において景気が大きく上向いたほか、欧州、米国の景気も緩やかながら回復に向かいました。わが国においても、緊急事態宣言の解除後、経済活動が段階的に再開されたことに伴い、景気は回復基調となりました。当社グループに関連する主な市場においても、需要は総じて回復傾向にあります。

なお、当第2四半期連結累計期間に適用した米ドルおよびユーロの平均為替レートはそれぞれ109円、120円で、前年同期に比べ米ドルは約2.0%、ユーロは約3.7%の円高水準で推移しました。

事業の体質改善をテーマとした
中期経営計画をスタートさせました。

当社グループにおいては、各国の新型コロナウイルス感染症対策に伴う経済活動の停滞等の影響により第1四半期の業績が落ち込んだものの、第2四半期には回復に転じました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は392億7千4百万円、営業利益は16億6千7百万円、経常利益は19億5千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億4千6百万円となりました。

当社グループは経営ビジョン「FURUNO GLOBAL VISION“NAVI NEXT 2030”」の実現に向けて、事業の体質改善による資源の捻出・体力強化をテーマとする中期経営計画のフェーズ1を今期よりスタートさせました。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

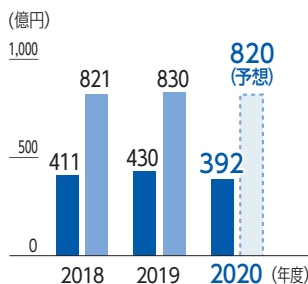
2020年11月

連結業績ハイライト (第70期 第2四半期)

■ 第2四半期累計 ■ 通期

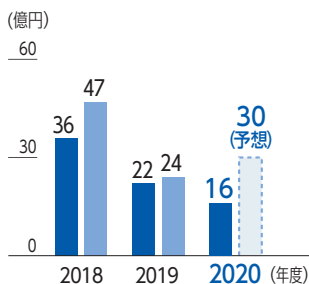
売上高

392億円
前年同期比8.7%減



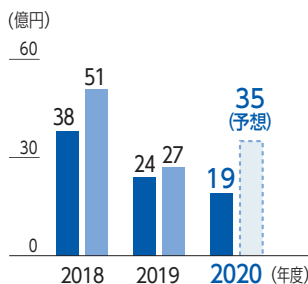
営業利益

16億円
前年同期比27.4%減



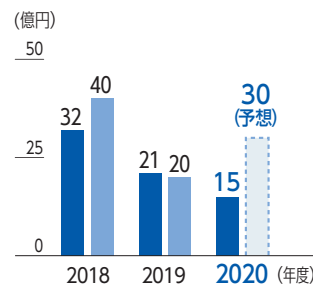
経常利益

19億円
前年同期比19.5%減



親会社株主に帰属する
四半期 (当期) 純利益

15億円
前年同期比29.3%減



配当について


当期の中間配当金につきましては、1株当たり10円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり10円(年間配当金は1株当たり20円)を予定しております。

船用事業

売上高 **312億円**
セグメント利益 **5億円**

主な製品

- 航海機器
- 無線通信装置
- 漁労機器



漁労用レーダー [FAR-2258]


■主に第1四半期連結会計期間における、各国の新型コロナウイルス感染症対策に伴う造船所の一時閉鎖などの影響により、商船向け、漁業向けともに売上が減少しました。

産業用事業

売上高 **49億円**
セグメント利益 **1億円**

主な製品

- 医療機器
- GPS 機器
- ETC 車載器



災害通報受信機 [QZ-DC1]

■ヘルスケア事業のうち、生化学自動分析装置の販売が堅調でした。

■主に第1四半期連結会計期間における、長距離移動自粛などの影響により、ETC車載器の売上が減少しました。

無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高 **30億円**
セグメント利益 **9億円**

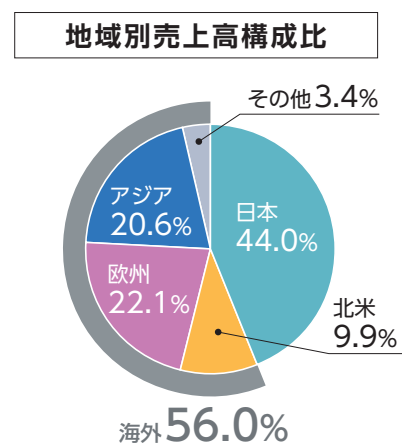
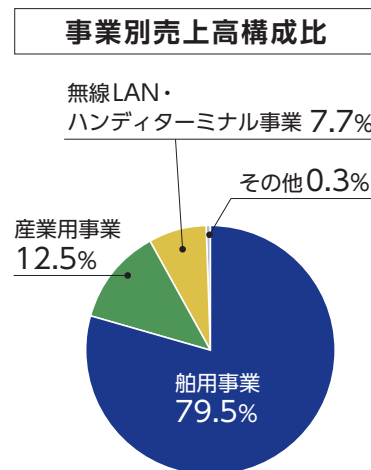
主な製品

- 無線LAN 機器
- 無線ハンディターミナル



3RF 対応アクセスポイント [ACERA 1210]

■『GIGAスクール構想』に伴い、文教市場向け無線LANアクセスポイントの売上が大幅に増加しました。



詳細な財務情報はフルノ企業情報サイトをご覧ください。

<https://www.furuno.co.jp/>
>IR・投資家情報

CLOSE UP

「経済産業省認定 新グローバルニッチトップ企業」に商船向けレーダーで選定

商船向けレーダーの実績をはじめとする取り組みが認められ、2020年版「経済産業省認定 新グローバルニッチトップ企業100選」に電気・電子部門で選ばれました。本認定制度は、適切なマーケティングや独自性の高い製品・サービスの開発、厳格な品質管理などにより他社と差別化を行い、グローバル市場においてニッチな分野でトップの地位を築いていることを認定の基準としています。当社は今後も、高性能・高品質な船舶用電子機器を通じて、最高水準の航海の安全・安心・快適をお客様に提供する海洋総合企業として務めてまいります。



評価の内容

当社は下記の4点が評価され、電気・電子部門で認定されました。

- **全世界シェア41%***を占める商船向けレーダーの実績
- 船舶の航行に必要なさまざまな電子機器を総合的に揃えることができる商品力
- 世界を航海するお客様の船を止めることなくどこの港でも要望に応じるサービス力
- お客様に安心してお使いいただくための全世界での販売網

※2019年1月から12月に日・中・韓造船所での建造船(タンカー、バルクキャリア、ドライカーゴ)に搭載したレーダーの数より算出

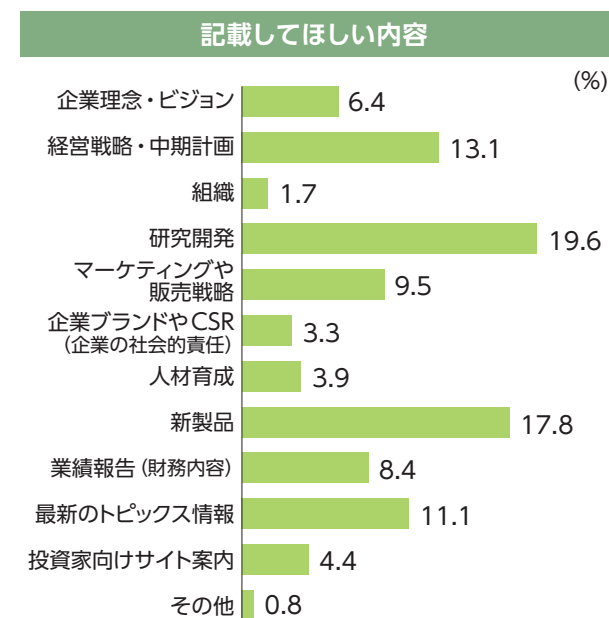
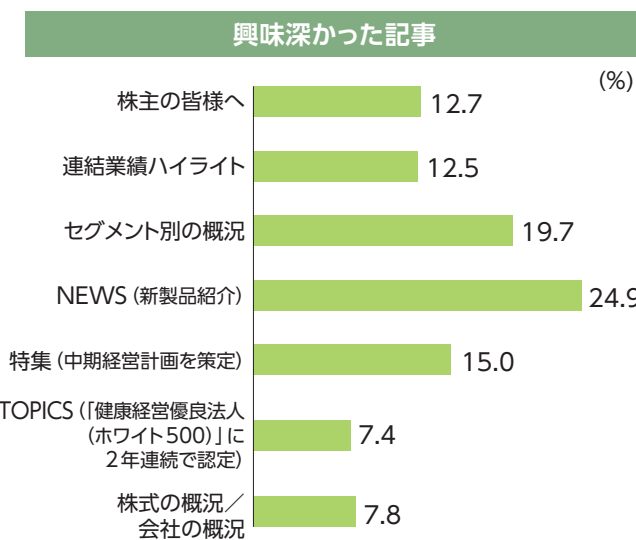
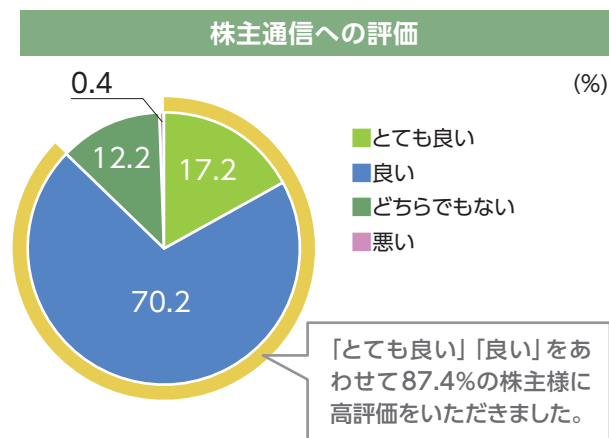
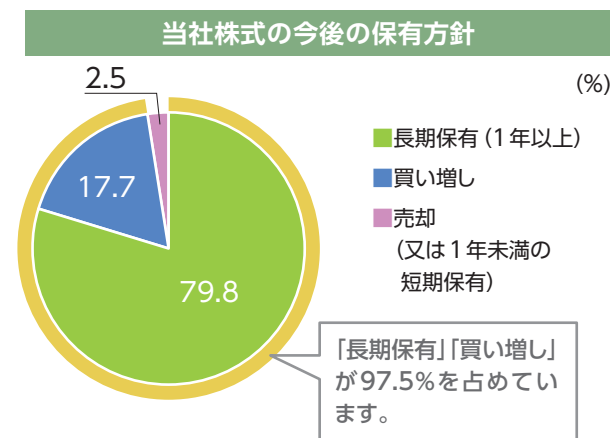


特集

株主様WEBアンケート結果のご報告

前回の株主通信にて告知したWEBアンケートに、多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご要望や激励のお言葉などを多数いただき、大きな励みとなりました。この場をお借りしてお礼申し上げるとともに、アンケート結果の概要についてご報告させていただきます。なお、ご回答いただいた株主様には「FURUNOカレンダー2021」を12月上旬に発送いたします。

[実施期間] 2020年5月29日～6月30日 [回答者数] 238名



主なコメント

- 少ない紙面にさまざまな事柄がコンパクトに記載されていて、会社のことが分かりやすいです。
- もう少し紙面を増やして、製品や研究動向も詳しく説明してほしいです。
- 堅実な経営努力をしていただき、中期経営計画を達成していただきたく存じます。
- 貴社は地元西宮の誇りです。市民に愛されるよう末長くご繁栄ください。

アンケートでいただいたご意見・ご質問にお答えします /

Q 会社の知名度を高めるために、一般向けの企業イメージ広告などを展開した方がよいように思われます。

A ブランド価値向上の一環として、プロバスケットボールクラブ「西宮ストークス」のオフィシャルメインパートナーになるとともに、企業CM「FURUNOを知ってほしくて」を制作しました。企業CMは、まずは地域の皆様に身近に感じていただきたく、本社最寄りの阪急西宮北口駅構内「にしきたワイドビジョン」で放映*し、連動して当社ホームページにも掲載しています。(*放映期間：2020年8月3日～8月9日、9月21日～10月4日)



阪急西宮北口駅構内「にしきたワイドビジョン」でのCMイメージ



特設サイトにて企業CMを公開しています。ぜひご覧ください。 <https://www.furuno.com/special/jp/nyani>

Q 文教向け事業についてのさらに詳しい説明がほしいです。

A 現在、日本の学校のICT環境の整備は遅れており、文部科学省では学校内の通信ネットワークの整備や、児童・生徒への1人1台端末の配備などを進めています。当社グループのフルノシステムズでは、ICT授業のように同時に多くの端末が接続する環境でも安定的に通信できる、高品質で信頼性の高い無線LANアクセスポイントを提供しており、ICT授業を支える無線インフラとして、多くの自治体や学校関係者様から支持されています。今後、ICT環境の整備が急速に進むに伴い、当社の文教向け事業も大きな伸びが期待されます。



全国47都道府県に導入実績

Q 船用機器の分野で、さらなる成長を期待します。

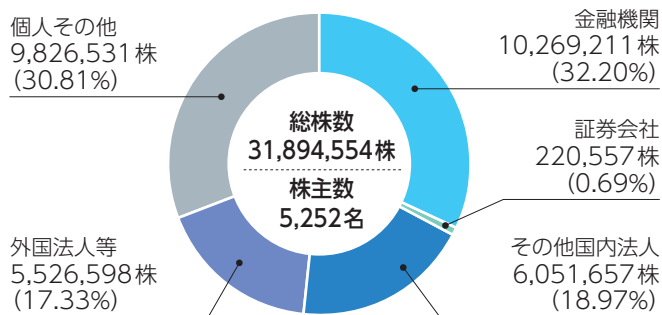
A 当社は自律運航船の実現に向け、「フルノENVISION」として、独自のセンサー技術を活かした「周囲状況把握 (認知)」、「周囲状況把握の結果に基づいた避航操船 (判断)」などの研究開発に取り組んでいます。2020年6月には、公益財団法人 日本財団が主催する「無人運航船の実証実験にかかる技術開発共同プログラム」に参加しました。船舶用レーダーや無線通信装置の開発で培った技術・ノウハウを活かし、来る自律運航船時代に向けた関連技術の獲得を目指します。



「無人運航船の実証実験にかかる技術開発共同プログラム」では、2025年までに世界初となる無人運航船の実用化に向けて、日本財団の助成金による支援のもと、国内各分野の企業が協力して実証実験を行います。

～皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、今後もIR活動の充実に努めてまいります。～

■ 株式の状況 (2020年8月31日現在)



※個人その他には、自己株式371,319株(1.16%)を含んでおります。

■ 大株主の状況 (2020年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,186	13.28
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,739	5.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,048	3.33
古野電気取引先持株会	1,005	3.19
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱UFJ銀行	992	3.15
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	942	2.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	815	2.59
GOVERNMENT OF NORWAY	683	2.17
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	598	1.90

※持株比率は、自己株式371,319株を控除して計算しております。

■ 会社概要 (2020年8月31日現在)

社名	古野電気株式会社
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	2,950名(連結) 1,739名(個別)

単元未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式(1~99株)をお持ちの株主様は、当社に対し市場価格で単元未満株式をご売却(買取制度)または単元(100株)にするために必要な株式を当社からご購入(買増制度)いただくことが可能です。

〈例〉45株をお持ちの株主様の場合

買取制度

45株を当社に売却することができます。

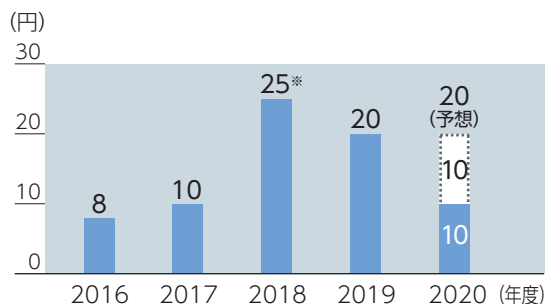
買増制度

55株を買い増して、100株にすることができます。

〈お問い合わせ先〉

- 証券会社等の口座でご所有の単元未満株式
お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座でご所有の単元未満株式
特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社(0120-288-324)にお問い合わせください。

■ 配当金の推移



※2018年度の配当金25円のうち、5円は創立70周年記念配当金です。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	
定時株主総会	毎年2月末日
期末配当金	毎年2月末日
中間配当金	毎年8月31日
その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。	
公告の方法	電子公告 (http://www.furuno.co.jp)
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人および特別口座の口座管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先(お問い合わせ先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324 (ご利用時間: 土・日・休日を除く9:00~17:00)
お取扱窓口	お取引の証券会社 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)

